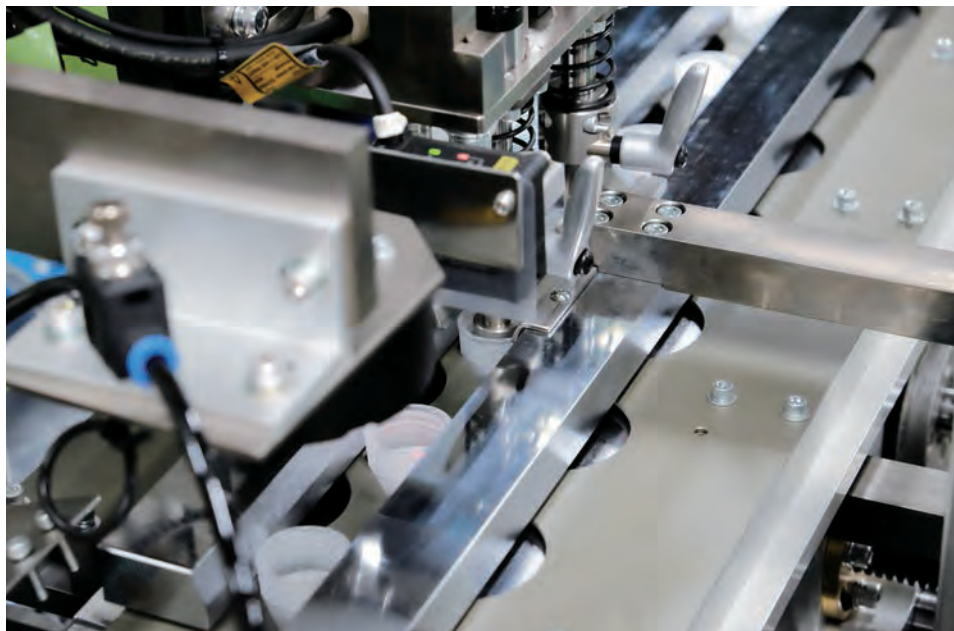


株式会社日東電機工業

豊富な経験と蓄積した技術で
独創的な装置を製作

納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



画像検査ユニット付き装置のニーズが高まる

業務内容
独自設計の製品で
顧客ニーズを満たす

さまざまな装置のモーター修理、各種制御盤の設計・製作から装置そのものの受注生産まで手がける。現在の売上構成比はモーター関連が減り、制御盤と装置がほぼ1対1。装置部門は画像検査装置やプラスチック成型品の自動箱詰め装置、筆ペン先の組み立て装置などを、顧客の要望に応じて生産してきた。プロパンガスボンベの再加圧検査を手がけるプラントメーカーは主要顧客の一つで、長年、再加圧装置の制御盤を受注し、試運転にも立ち会っている。創業は八尾市。家古谷賢三社長が20歳で起業し、平成24年に創業50周年を迎えた。

強み
豊富な経験を
システムにまとめる

事業はモーターの巻き替えからスタートしたが、高度経済成長期、自動化が進む中で制御盤をメインに据え、装置も手がけるようになった。しかしバブル経済崩壊後は海外生産が増え、制御盤の仕事が減少。このため装置の製作に力を入れ、小回りのきくメーカーとして、口コミでその存在感を高めてきた。さまざまな機械・装置に携わった経験と総合的なシステムをまとめ上げる技術力が強みで、アイデアと工夫によって大手には作れない装置を形にする。プラスチック成形



豊富な経験とアイデアでニーズに答える

機に備え、成形した製品を自動で貯蔵する「オートストッカー」は本業の機械メーカーもうならせる機能で、知名度向上に貢献したという。

製品開発
自社ブランドの構築で
経営基盤を安定

現在は自社ブランド装置の開発にも力を入れている。国や大阪府の補助金を活用し、化粧品などの容器にパッキンを入る「マルチ型パッキン挿入装置」や1枚の紙からトレイを作成する「フラットトレイ容器成型装置」などを完成させた。受注生産の装置は波があるため、汎用装置でこの山谷を埋めて、経営基盤を安定化するのが狙いだ。特に世代交代を考えたとき、一品料理の装置がメインでは、時期を図るのが難しい。体制強化のための新規採用にもなかなか踏み出せない。こうした状況を自社ブランド製品で打開しようと考えている。

今後の展望
画像検査装置と自社
ブランド製品で市場を開拓

「受注額を決め、一端受けたらユーザーが納得するまで徹底的に作り上げてきた」と家古谷社長は語る。これまで手がけた装置の技術と発想、応用力は社内に資産として積み上がっている。合わせて、講習会などへの参加を経て従業員の技術も向上してきた。昨今は受注環境が好調で、画像検査ユニットを組み込んだ装置は自動車部品や酒、飲料のキャップなどの生産現場でニーズが高まっている。今後、こうした分野を伸ばしながら、自社ブランド製品と両輪で事業の安定と拡大を狙う。

COMPANY PROFILE

株式会社日東電機工業

大阪
26当社の
歴史

モーターコイルの巻き替えに始まり、計器板、分電盤、動力盤の製作・施工、制御盤の設計・製作と制御畑を歩んできました。大手メーカーの海外移転に伴い、国内の仕事量が減る中、当社は平成10年に堺市に移転。本格的な装置生産に取り組む態勢を整え、プラスチック成形の周辺装置やロボット箱詰め装置、画像検査装置などを手掛けています。

相談戴ければ機電一体でご要望のシステムを
まとめて参ります。

代表取締役 家古谷 賢三さん



■主な事業内容
電気機器製造業・自動化省力化機械製造業

■主な取引先（納入先）
プラスチック品メーカー、各種装置メーカー、産業機器メーカー、各種瓶用キャップメーカー

住所／〒587-0002 堺市美原区黒山 410-1
TEL／072-369-2570
FAX／072-369-2571
創業／昭和37年5月
設立／昭和56年5月
資本金／1,000万円
従業員／11名

<http://www.nittodenki.co.jp>